

おうちでできる！ 子どもの 事故予防



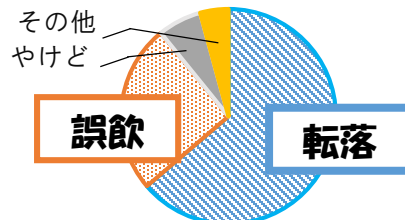
子どもは運動機能の発達とともに、いろいろなことができるようになります。その一方で、様々な事故にあうおそれも…。月齢に多い事故やその対策を知り、事故を未然に防ぎましょう！

0歳の死亡原因

第1位	先天奇形、変形及び染色体異常
第2位	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
第3位	不慮の事故！！ (思いがけない事故)
第4位	乳幼児突然死症候群
第5位	胎児及び新生児出血性障害及び血液障害

久留米市の0歳児の保護者が事故を起こした・起こしそうになった瞬間で多いものは

転落！ 誤飲！



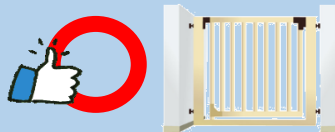
H31年度乳幼児健康診査受診者健診票結果より

多い事故と対策

◆ 転落 ◆

階段からの転落やベランダの柵の間からすり抜ける転落事故もめずらしくありません。

- ◆必ず安全マークの付いたベビーガードをつける！
- ◆ベランダや階段、窓の近くには踏み台になるようなものを置かない！



◆ 誤飲 ◆

床やテーブルに置かれた錠剤、たばこ、ボタン電池、磁石などを飲み込んだり、なめたりする事故が多くみられます。

- ◆タバコ、薬、ボタン電池など危ないものは置かない！
- ◆右の円の中に入る大きさのものを置かない！赤ちゃんが飲み込めるサイズです。

39mm

◆ 溺死 ◆

親が目を離れたすきに、首掛け式浮き輪の空気が抜けたり、はずれたり、浴槽に浮かぶおもちゃを取ろうとして溺れる事故が起きています。また自分で浴室に入って溺れる事故もあります。

- ◆入浴中に目を離さない！
- ◆浴槽の水は抜く！
- ◆浴室のドアの高い位置に外カギをつける！



◆ 窒息 ◆

睡眠中の赤ちゃんが柔らかい布団、枕、タオル、よだれかけなどに口をふさがれたり、食べ物やミルクなどを吐き戻して窒息する事故が多発しています。

- ◆寝返りをうってうつぶせになり、窒息しないように気をつける！
- ◆ベッドの中にやわらかい布団・枕ぬいぐるみなどを置かない！
- ◆寝るときはよだれかけをはずす！

